

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

株式会社きんでん（証券コード:1944）

【新規】

長期発行体格付 AA-
格付の見通し 安定的

■格付事由

- 1944年設立の総合設備エンジニアリング企業で、電気設備業界における最大手。電柱や配電線などの配電設備の建設や改修を行う配電工事、架空・地中送電線などの電力その他工事、公共施設・ビルなどの一般電気工事、計装設備や携帯電話基地局の構築などの情報通信工事、空調や給排水システムを手掛ける環境関連工事などを手掛けている。26/3期の売上高構成比（単体）は、一般電気工事 66.1%、配電工事 13.2%、環境関連工事 8.7%、情報通信工事 8.1%、電力その他の工事 3.9%である。関西電力の持分法適用関連会社だが、上場会社としての経営の独立性が認められることなどから、当社格付はスタンドアローン評価を適用している。
- 事業基盤は強固である。長年にわたる電力インフラ設備の維持・強化の実績、一般電気工事、配電工事、環境関連工事、情報通信工事などの幅広い分野への対応力、近畿および関東・首都圏を中心に全国に張り巡らされた拠点網、継続的な人的資本投資によるマンパワーなどが強みとなっている。中期的に国内においては電気設備工事の旺盛な需要が見込まれることから、当社の業績は好調に推移するとみられる。また、これまでの利益蓄積により、良好な財務構成を構築している。関西電力グループが保有する当社株式の一部を取得することを公表しているが、それが実現しても引き続き、財務健全性は維持されると考えられる。以上から、長期発行体格付を「AA-」とし、見通しは「安定的」とした。
- 関西電力グループとの関係性が深く、配電工事を中心に同グループからの売上高は約 18%ある。今後、同グループの出資比率は低下する見通しだが、配電工事などにおける安定した取引関係に変化はないと考えられる。また、配電工事はほかの工事と比べて受注変動リスクが小さく、今後も当社業績を下支えしていくことが見込まれる。
- 26/3期の営業利益は902億円（前期比 48.0%増）と2期連続で最高益を更新した。需要が旺盛な中、採算重視の受注活動を進めており、工事採算性が向上している。27/3期の営業利益は970億円（同 7.5%増）と増益の計画である。引き続き、人的資本投資の強化による販管費の増加などが予想されるが、一般電気工事をはじめとした幅広い分野における受注獲得や業務効率化の取り組みにより、好調な業績が見込まれる。
- 26/3期末の自己資本比率は72.4%（前期末：72.9%）と高く、実質無借金を継続している。また、同期末の自己資本は6,613億円（同：5,990億円）と十分な厚みを有している。関西電力グループが保有する当社株式の一部を取得した場合、自己資本比率は40%台まで低下する見通しだが、財務健全性に特段の問題はない。今後、着実な利益蓄積が見込まれることから、上述の株式取得後の継続的な財務構成の改善が想定される。

（担当）大塚 浩芳・下田 泰弘

■格付対象

発行体：株式会社きんでん

【新規】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	AA-	安定的

格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2026年4月27日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：里川 武
主任格付アナリスト：大塚 浩芳
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014年1月6日）として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2024年10月1日）として掲載している。
5. 格付関係者：
(発行体・債務者等) 株式会社きんでん
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
 - ・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
 - ・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 格付関係者による関与：
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

株式会社 **日本格付研究所**

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル